

Title	検査社会の到来”健康”が義務となる社会実施結果：アンケート集計結果の概要（総合研究所 News：2014 年度 聖学院大学総合研究所 カウンセリング研究センター主催スピリチュアルケア研究講演会）
Author(s)	聖学院大学総合研究所
Citation	聖学院大学総合研究所 Newsletter, Vol.24No.2, 2015.1 :34-35
URL	http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/rep/modules/xoonips/detail.php?item_id=5249
Rights	



聖学院学術情報発信システム：SERVE

SEigakuin Repository and academic archiVE

総合研究所 News

2014年度 聖学院大学総合研究所
カウンセリング研究センター主催
スピリチュアルケア研究講演会

検査社会の到来 ”健康”が義務となる社会 実施結果——アンケート集計結果の概要

日本でスピリチュアルケアが終末期医療のなかで語られて、すでに30年以上がたちました。治療中心の医療に対して、患者の生活の質を重視するホスピス/緩和ケアが重視されて、患者の心や魂の問題にも関心が向けられてきました。

今回、長年立教大学で生命倫理を研究されてきた関正勝先生をお迎えします。関先生は、現在、聖路加国際病院でもチャプレンとして、患者の生と死に関わっておられます。私達の生と死への向き合い方や生命倫理についてお聞きしたいと思います。

日 時：2014年10月24日（金） 14：00～16：30

場 所：聖学院大学ヴェリタス館教授会室

【プログラム】

開会の挨拶

■講 演

「検査社会の到来 “健康” が義務となる社会」

関 正勝（聖路加国際病院チャプレン・立教大学
名誉教授）

司 会

窪寺 俊之（聖学院大学大学院教授・聖学院大学
人間福祉学部子ども心理学科長）

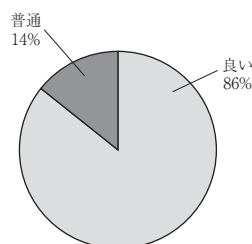
質疑応答

【結果の概要】

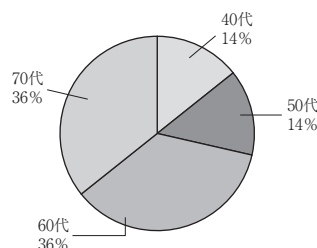
・参加者は36名。内、アンケート回答者は15名。

- ・講演について「良い」という意見が86%と高い評価だった。
- ・自由意見として、「とても素晴らしい講演だった」「他者を支えながら共に生きるということを教えられた」「参加した価値があった」など。

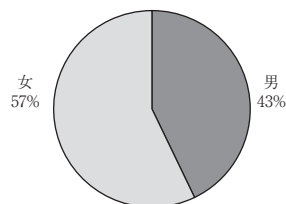
講演について



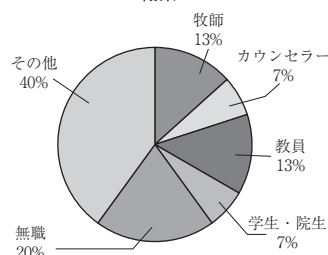
年齢

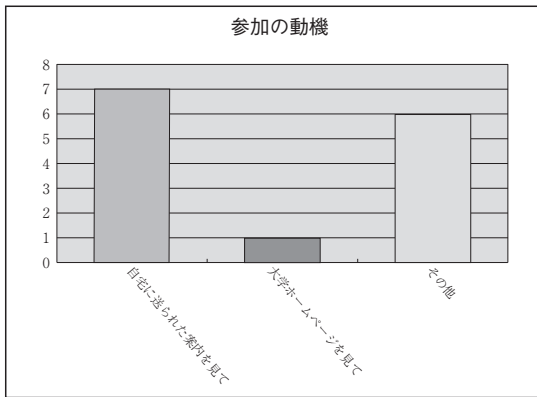


性別



職業





今後、聞いてみたい講演会や希望

- ・ 今後も健康をテーマにしたものを希望します。特に栄養などに関する最新の情報を聞いてみたいと思います。
- ・ もっとスピリチュアルケアそのものへの学びをやってみたいと思います。人間関係の薄くなった現在、家族間であってもお互いを思いあえる時間がなくなりつつあります。母であり、妻である私の心の持ち様、母を見送った後、つくづく感じるようになりました。学べる機会がもっとあればと思います。

自由意見

- ・ 今日とは生命の根源にふれる素晴らしいお話を伺うことが出来、ありがとうございました。
- ・ とても素晴らしい講演会だったと思います。一人でも多くの人に聞いていただければと感じました。
- ・ 本日はチラシのテーマ「検査社会の到来“健康”が義務となる社会」だけをみて参加しました。しかし関先生のお話の内容は、具体的事例（ご自分の家族含め）を挙げながら、人間の生きる本質は何かの問いかけを与えていただく実に濃い内容でした。参加（聴講）した価値がありました。
- ・ 「存在が価値である」ということに共感します。その発想を行動、態度に表せる自分でありたいと思います
「障がいとは社会にある生きにくさを映し出す鏡である」ということをもとにした街づくりを実現できるよう努力したいと思いました。日々の働

きに向けた示唆を与えていただきました。ありがとうございました。

- ・ 最後に質疑応答では心に残るお話、沢山ありがとうございました。今日は本当に来てよかったです。
- ・ 本日のご講演聴かせていただいたこと、ありがとうございます。身体に障がいをもっておられる方たちのボランティアをされていて、人間の価値とか、存在の意味などをいつも考えさせられております。わたしの思いに強い味方を得た様な、またこれからのボランティアを続ける力をいただいたことに感謝もうしあげます。
- ・ 私たちの小さい時からインプットされている、国家の都合の良い思想や教育がなされていますので、健康ではない人の存在が否定されつつあります。
- ・ 自分の弱さを認め、他社に支えながら、他者をささえながら共に生きることの大切さを教えられました。
- ・ 今日のセミナーを感謝しています。ダウン症の人に問いつつ存在の価値をとということばが心に留まっています。一人の人の価値、大切さを学ばせて頂いています。
- ・ 茶臼岳の話、印象的でした。ありがとうございました。
- ・ 本当にありがとうございました。